

平成24年度

豊頃づくり

本町の基本理念であります「報徳のおしえ」のもと、人と自然が調和した安らぎと温もりのある町をめざして、「町民一人ひとりが参加し協力しあつて、魅力あふれるまち・豊頃」の実現に向け、町民の皆様とともに協働のまちづくりに努め、次世代にしっかりと継承して行くことを使命とし前進する決意であります。

本町における山積する諸課題の克服に当たり、志を高く持ち未来へ夢と希望を掲げ、立ちほだかる困難に決して臆することなく、自ら先頭に立つて、町民の皆様と手を携えながら、まちづくりの基本指針であります第4次豊頃町まちづくり総合計画の実現に積極的に取り組み、安心して暮らせるまちづくりを力強く推し進めてまいります。

第1回豊頃町議会が3月7日から開催され、平成24年度予算が可決されました。
本特集では本年度の町政や予算の概要についてお知らせします。

平成24年度の主な事業

■総務関連	大津地区防災対策関連事業	4,300千円
■企画関連	総合行政情報システム整備事業	34,520千円
	戸籍システム導入事業	5,250千円
	各種交流事業	1,541千円
	協働のまちづくり地域提案支援事業	3,000千円
	産業振興事業	10,000千円
	住宅用太陽光発電システム導入補助	840千円
	町外通勤者助成事業	1,800千円
	ホームページ制作業務	5,775千円
■保健衛生関連	墓地内通路舗装事業	3,800千円
	茂岩簡易水道基幹的施設改良事業(簡易水道特別会計)	117,100千円
■福祉関連	福祉灯油支給事業	1,800千円
	いきがい対策事業	2,500千円
	在宅福祉サービス事業	5,642千円
	介護保険指定居宅サービス事業者補助	42,936千円
	福祉タクシー乗車券交付事業	2,850千円
	コミュニティバス運行業務委託事業	4,783千円
	入学祝金支給事業	810千円
	乳幼児等医療費助成事業	10,000千円
■農林水産関連	農道・明渠維持補修	14,600千円
	緊急農地盤整備事業	10,200千円
	鳥獣被害対策緊急支援事業	18,572千円
	営農資材費等高騰緊急支援対策事業	8,000千円
	中山間地域対策事業	14,759千円
	道営負担事業	62,173千円
	団体営事業(農業体質強化基盤促進事業)	45,000千円
	緊急時搾乳機器洗浄水確保設備整備事業	1,000千円
	優良肉専用雌牛確保対策事業	1,820千円
	町有林造林事業	17,419千円
	未来につなぐ森づくり推進事業	14,040千円
	茂岩新和町地区小規模治山事業	12,284千円
	漁港内補修事業	4,500千円
	種苗中間育成事業	500千円
	さけ増殖事業	650千円
■商工観光関連	プレミアム付特別商品券発行事業補助	14,470千円
	観光協会補助	1,200千円
	物産販路拡大推進協議会補助	500千円
	とよこ産業まつり補助	3,400千円
	とよこ夏まつり補助	600千円
■土木関連	社会資本整備総合交付金事業	228,829千円
	地方特定道路整備事業	58,221千円
	町道舗装等改修工事	70,000千円
	町営住宅管理事業	7,612千円
■教育関連	スクールバス購入事業	20,898千円
	豊頃小学校関連施設塗装改修事業	21,483千円
	大津小学校外装塗装改修事業	19,509千円
	高等学校等就学助成金	6,240千円
	修学旅行費交付金	790千円
	サマーランド市中学生派遣交流事業	3,000千円
	姉妹都市交流事業	1,457千円
	ふるさと給食事業	410千円

快適で魅力あるまちづくり

市街地の整備

本年4月下旬にオープン予定の、とよこ物産直売所は、国道38号から茂岩市街への流入を促進する役割と併せ、本町における観光・物産のインフォメーション発信機能としても期待しています。

定住・移住促進対策

本町の住民基本台帳における人口の推移は、平成24年1月末現在、昨年同期との比較で45人減の3529人、65歳以上人口は7人減の1200人であり、その構成比は34.0パーセントと昨年同期より0.2ポイント増加し、過疎化・少子高齢化が顕在化しています。

このため、定住・移住の対策は、子どもを産み育てやすいま

ちづくりから老後を安心して住み続けられるまちづくりまで、様々な施策を総合的に取り組むことが求められています。平成22年4月から執り進めている乳幼児等医療費の無料化拡大、高等学校等就学助成をはじめとする一連の子育て支援策や、昨年度から実施している町外通勤者への通勤経費助成のほか患者輸送車の運行など高齢者に優しい定住促進対策を図るとともに、新築された農園付き移住体験住

公共交通の充実

平成22年4月から、茂岩市街地とJR豊頃駅を結ぶ区間を民間業者に委託して運行しているコミュニティバスの利用乗車数は、平成22年度は1日平均14.1人、平成23年度の1月末日までは1日平均18.5人と増加傾向にあります。

今後も交通弱者の方々が利用

廃棄物の処理と環境保全対策

本町の一般廃棄物処理については、その基本計画に基づき「十勝環境複合事務組合」に加盟し、中間処理および最終処分を計画的に行っているところです。

ごみの総排出量は、平成17年有料化以降、横ばいで推移していましたが、適正な分別や減量化に関する指導・啓発により減量化、再資源化の意識が定着し、ごみの総処理量も若干の減少傾向にあります。今後においても減量に対する啓蒙活動を図っていきます。

会計別当初予算概要 (単位:千円、%)

会計名	24年度予算	23年度予算	比較
一般会計	4,001,458	4,133,348	▲ 3.2
特別会計	1,700,797	1,619,709	5.0
国民健康保険特別会計	586,636	612,074	▲ 4.2
介護保険特別会計	389,957	326,340	19.5
後期高齢者医療特別会計	52,914	46,011	15.0
医療施設特別会計	154,488	178,635	▲ 13.5
簡易水道特別会計	295,193	236,944	24.6
公共下水道特別会計	221,609	219,705	0.9
合計	5,702,255	5,753,057	▲ 0.9

予算全体の概要

平成24年度一般会計当初予算は、40億145万8千円で対前年度比3.2%の減、6特別会計を合わせた全会計総額では、57億225万5千円で、対前年度比0.9%の減となりました。

一般会計の歳入について、普通交付税は、2,960万1千円増(対前年比1.5%増)の20億5,736万7千円、臨時財政対策債は、4,500万円減(対前年比23.1%減)の1億5,000万円を見込みました。また、財源不足に充てるための基金取崩しとして、財政調整基金から1億3,000万円、行政情報化推進基金から3,000万円の繰入を計上しました。

特別会計については、国民健康保険特別会計ほか5特別会計の総額は対前年度比5.0%増の17億79万7千円となりました。これは、介護保険特別会計の介護給付費等の伸び並びに簡易水道特別会計による茂岩簡易水道基幹的施設改良事業に係る事業費増によるものです。

なお、介護保険については、介護保険事業計画の見直しにより第1号被保険者の基準保険料を現行月額3,598円から4,664円に改正します。

また、平成14年に閉鎖した旧清掃センター焼却施設につきましては、ダイオキシン類対策措置法に基づき環境汚染物質の飛散防止等の措置を講じ、厳重かつ徹底した管理を行うとともに旧安骨最終処分場からの浸出水についても水質検査を行い、今